

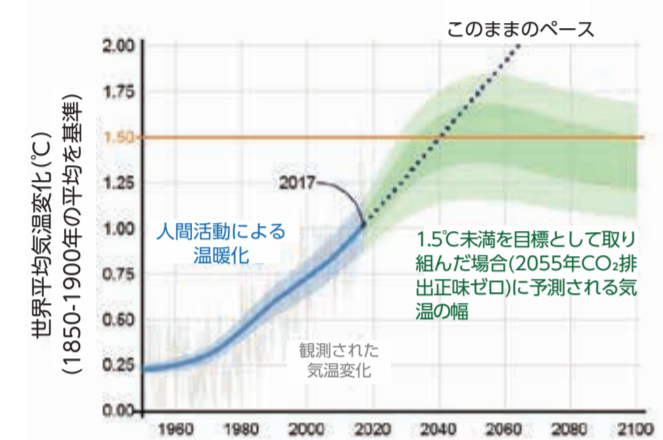
今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。

環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

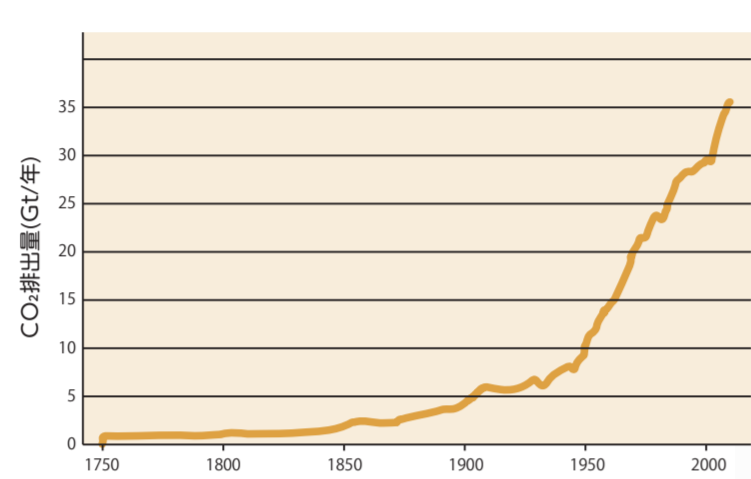
未来のために…世界で取り組むストロップ・ザ・温暖化

増え続ける二酸化炭素、止められない気温の上昇

世界の平均気温の変化と1.5℃目標との関係
最新の報告では、温暖化を1.5℃で止めることが重要とされている



世界のCO₂排出量



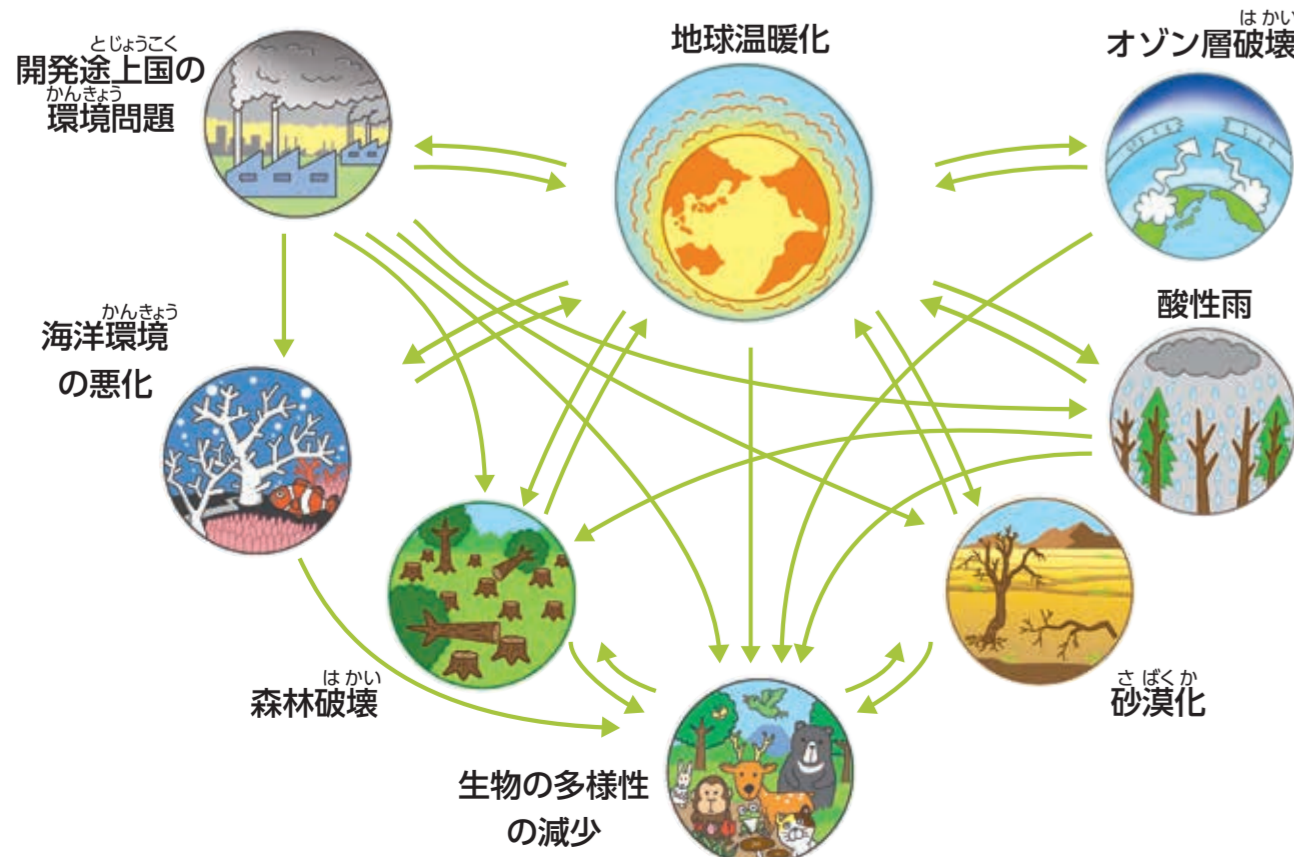
海と陸上をあわせた地球の年間平均気温は、1880年頃からの約100年間で約1℃高くなりました。これは、温室効果ガスの一つである二酸化炭素の排出量が地球全体で増え続けているからです。このままのペースでいくと、2040年頃には気温上昇が1.5℃に達してしまいます。

これまでの1℃の気温上昇で、すでに異常気象や、北極の海水の後退といった変化が起きている。もし気温の上昇が2℃に達した場合、より極端な気温の変動や海面上昇が起これ、サンゴ礁が事実上全滅してしまうなど、自然や人間の活動に対していっそう深刻な影響をもたらします。

地球温暖化を1.5℃に食い止めるためには、世界中の様々な分野で取組を急ぎ、全世界の二酸化炭素排出量を2030年までに2010年との比較で45%まで減らし、2050年までには実質ゼロにする必要があります。

地球温暖化はあらゆる問題に関係があるといわれています

温室効果ガスは、一度排出されると長期間にわたって大気中にとどまり、気候や海洋環境に大きな影響を与えます。気温の上昇だけでなく、地球上のさまざまな環境や生態系に、大規模で、かつ元に戻すことが不可能なほど、大きな変化をもたらすことになります。



持続可能な社会づくりに向けて

地球温暖化につながる二酸化炭素の排出を減らすために、世界全体で地球温暖化対策に取り組む必要があります。例えば次のような取組が考えられます。

バイオマス発電
農業、畜産、林業などから出る廃棄物や、家庭ごみ、食品の残り、下水汚泥など、これまでは廃棄されてきた生物資源(バイオマス)をエネルギー源として、電気をつくったり、熱を利用したりします。

水力発電
大規模なダム水力発電以外に、農業用水路や小さな河川を利用する小規模水力発電も進んでいます。

地熱発電
地下に蓄えられた地熱のエネルギーを、蒸気や熱水として取り出し、発電します。

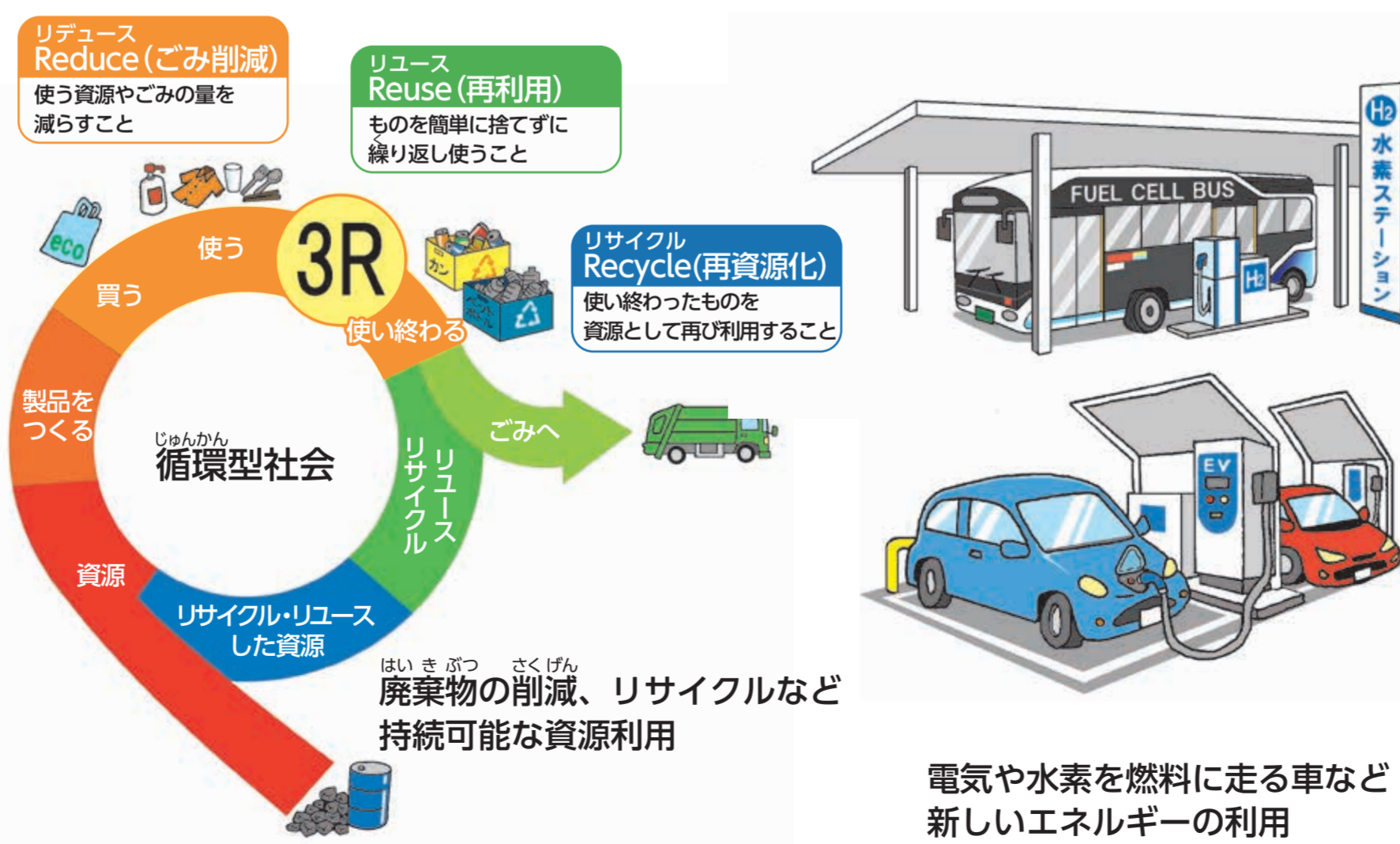
風力発電
風の力で風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて電気を起こします。

リサイクル工場
さまざまな使用済み製品から役に立つ金属、プラスチック、紙、油、繊維などを取り出し、再び原料として利用できるように再生します。

屋上緑化・壁面緑化
建物の屋上や壁に植物を植えることで、太陽光の反射、伝導熱の低減による省エネ効果が得られます。水やりによる蒸発はヒートアイランドの軽減にも役立ちます。

太陽光発電・太陽熱利用
太陽の光エネルギーを利用してソーラー電池で直接発電。また、屋根の上などに置いた集熱器で集めた太陽の熱エネルギーを、給湯や暖房に利用します。

自然エネルギーの利用など二酸化炭素を出さない都市づくり



次の世代にバトンタッチするために…世界が取り組む「SDGs」



SDGsは2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な世界を目指すための17の目標です。

環境問題に関わる目標としては、「6.安全な水とトイレを世界中に」、「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「13.気候変動に具体的な対策を」、「14.海の豊かさを守ろう」、「15.陸の豊かさを守ろう」などが挙げられています。

地球温暖化防止に向けた世界の歩み

- 1985年 UNEP(国連環境計画) フィラハ会議(オーストリア) 地球温暖化に関する初めての世界会議
- 1988年 IPCC(気候変動に関する政府間パネル)設立
- 1992年 地球サミット(リオデジャネイロ)で気候変動枠組条約採択
- 1995年 COP1: 第1回締約国会議(ベルリン)
- 1997年 COP3: 京都議定書採択・先進国にCO₂削減を義務付け
- 2015年 COP21: パリ協定採択・全ての国にCO₂削減を義務付け
- 2018年 IPCC 「1.5℃特別報告書」を発表
- COP24: カトヴィツェ(ポーランド)でパリ協定実施に向けたルールを採択
- 2019年 国連が9月に気候変動サミットの開催を予定

誰もが、今もこれからも、幸せに暮らすためにできることをやってみよう

今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。これまで学んだ自然エネルギーの利用や海ごみの対策なども、私たちの暮らし方と深く関係していました。

これからも環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

